千代田区議会 自由民主党

議会レポート⑧

住所：千代田区九段南１-２-１千代田区役所７階　発行：千代田区議会　自由民主党

会派の区指定文化財視察（神田明神）

神田神社　千代田区指定文化財
有形文化財（絵画）『紙本着色神田明神祭礼絵巻　住吉弘貫筆　三巻』『紙本着色神田明神祭礼図巻　三巻』／有形文化財（古文書）『嘉永四亥年九月神田明神祭礼御用留　一点』『御上洛御用留　一点』／有形文化財（歴史資料）『水野年方顕彰碑　一基②』／有形民俗文化財『山車人形『熊坂』一式』『力石　一個①』『石獅子（夫婦一頭）一対⑥』『鉄製天水桶　一対④』『水盤　一基⑤』『大伝馬町八雲神社鉄製天水桶一対』『籠祖講関係石造物群　九点』『小舟町八雲神社鉄製天水桶一対③』

千代田区議会 第四回定例会（前編）

代表質問　小林やすお
公共施設整備のあり方
聴覚に支障がある方に対する区の助成
屋外スポーツ施設

一般質問　桜井ただし
水害対策について
今後の小学校の整備について

一般質問　永田壮一
公共イベント運営について

一般質問　池田とものり
千代田区型多世代交流の方向性について

一般質問　西岡めぐみ
婦人科検診について
特定不妊治療、一般不妊治療、不妊検査の各助成制度について

皆様のご意見をお聞かせください。

〒102-8688
千代田区九段南１-２-１ 千代田区役所７階
電 話 03-5211-4320
FAX 03-5275-6882
千代田区議会 自由民主党

永田壮一

所属委員会

地域文教委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

文化財保護・活用特別委員会

公共イベント運営について

問：区では様々なイベントを運営しているが重複する内容であったり、形骸化して趣旨が不明確になる等の問題を解決できないまま継続していることが見受けられる。またジャンルにより所管が異なるので庁内での連携体制が取れていない。そこで、イベントマネジメント専門家の育成・配置、区民サービスの視点でのイベント運営、既存のイベントの統廃合、あいちトリエンナーレのようなことが無いよう共催の判断については厳格化を求める。

答弁：イベント開催は、観光客向けはもとより区民サービス充実の視点が重要である。マネジメントについては外部の専門家の意見を取入れたり、職員の研修を積極的に行っていく。共催については公序良俗に反すること、政治・宗教色を有すること、私的な利益の目的でないことを基準に判断している。

　イベント行政を一括して扱える専門家の配置は既存の組織のまま民間の意見を聞く等で対応する。

詳しくは、千代田区議会ホームページ https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/

西岡めぐみ

所属委員会

地域文教委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

文化財保護・活用特別委員会

婦人科検診について

問：「人生１００年時代」に於いては健康寿命を延ばせる社会を創生することが重要な課題である。一方で、日本人の死因の１位である「がん」は、年々増加傾向にある。
現在「乳がん検診」は、対象が４０歳以上の偶数年齢だが、対象を３０歳以上に引き下げ、「子宮がん検診」共に「毎年の無料実施」にすることで早期発見に繋ぐべきではないか。受診率向上も工夫すべき。

答弁：がん検診の受診率向上を図ると伴に、国の指針や動向を注視したい。

特定不妊治療、一般不妊治療、不妊検査の各助成制度について

問：都の助成制度に加え、本区オリジナルで一般不妊治療助成と不妊検査助成を分けて、手厚く助成してはどうか。一般不妊治療である人工授精から、特定不妊治療とされる体外受精にステップアップする過程を鑑みれば、治療費対象の拡充や期間延長をすべきである。
現在の助成対象は「夫婦共に区民」を条件としているが、出産する女性自身が本区在住のみでも助成拡大をし、現代社会のニーズに合った行政の取り組みが必要である。
また不妊治療に於ける心のケアの取り組みはどうか。

答弁：助成の対象や、心のケアを含めた相談・支援ができるよう体制を整えていく。

詳しくは、千代田区議会ホームページ https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/

千代田区型多世代交流の方向性について

問：高齢者や一人暮らしの方、子どもたちの孤食の解消に向けた誰もが利用できる千代田区型多世代交流食堂が各地域で必要ではないかと考えます。地域交流の場として全庁的な取り組みを求めますが。

答弁：多世代交流食堂は子どもや高齢者の孤食の解消につながり、子どもの健全育成だけでなく参加者同士の交流を通じた地域コミュニティづくりにも寄与するものと考える。今後、高齢者の日常生活をさまざまな場面で支える仕組みづくりが必要である。

問：様々な地域活動を支えている地域ボランティアの人材育成について、また、民間企業や NPO 団体との連携の強化について本区としての支援策などは。

答弁：子どもからお年寄りまで多世代が交流する機会や場を提供し、地域のつながり、地域力を高めることが重要、地域に関心を持つ新たな活動者の発掘や育成を含め、区政におけるボランティアとの協働についてより具体的に検討していく。

問：かがやきプラザ一階奥に位置するひだまりホールを多世代交流の場として日常的に活用できるよう検討を求めますが。

答弁：区や社会福祉協議会が実施する事業だけでなく、さまざまな主体による多世代交流活動が展開されるよう検討していく。

一般質問（要旨）

池田とものり

所属委員会

地域文教委員会
災害時要配慮者等対策特別委員会
オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

詳しくは、千代田区議会ホームページ https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/

水害対策について

問：水害は事前の準備によって減災に繋げることが期待できる。区は区民に災害予測を丁寧に説明し有事に備えて何をすべきか、災害の危険性を「自分のこと」と捉え早めの準備や避難につなげていくことが大切。ビル化が進む中、正確で迅速、誰にも分かり易い情報は大きな安心に繋がる。区は戸別受信機を高齢者や障害者の方々から配布されてはどうか。千代田区役所を始め水害によって防災物資が使えなくなる場所が多い。区として早急な対策が必要。

答弁：避難所運営協議会や町会長会議、マンション連絡会などの場を通じ、災害予測について丁寧に説明し有事に備えて何をすべきか、区民の理解を深めるよう努めていく。防災情報は広く、正確に全ての区民の方々へお伝えすることができるよう、戸別受信機の配付も含め様々な手法を検討する。備蓄倉庫は本庁舎を含め可能な施設から調整を進め対応していく。

今後の小学校の整備について

問：今後の区全体の児童数の推移と生徒数の増加に伴う学校整備についてどのように考えるか。特に 18 クラスとなった麹町小学校に於いては抜本的な解決方法しかない。区の具体的な考えを求める。

各小学校のクラス数と生徒数

小学校	クラス数	生徒数
麹町小学校	18	528
番町小学校	12	405
九段小学校	14	450
富士見小学校	15	443
昌平小学校	10	255
和泉小学校	12	321
千代田小学校	11	272
お茶ノ水小学校	11	264

答弁：麹町、九段、富士見小学校に続き和泉橋地区に於いても児童の増加が顕著。学校施設の整備は地域特性や制約条件を考慮し、創意工夫をしながら学校施設の整備を進めていく。麹町小学校については手段を限定することなく全庁的に協力を求めながら早急に検討を進め対応していく。

一般質問（要旨）

桜井ただし

所属委員会

企画総務委員会
景観・まちづくり特別委員会
災害時要配慮者等対策特別委員会

詳しくは、千代田区議会ホームページ https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/

公共施設整備のあり方

問：区は人口減少にともない、平成３年「公共施設適正配置構想」を策定、平成５年には学校統廃合が実施された。その後、平成７年には３万５千人を切る状況まで落ち込み、現在は人口６万５千人を上回るまで回復し幼保・学校、高齢者施設など、公共施設の需要はひっ迫し機能更新時期を迎える施設も存在する中、平成３年当時とは真逆の意味での「新・公共施設適正配置構想」が必要ではと思うほどである。　飽和状態が近い保育園、小学校、低未利用財産の活用課題について、区の方向性を示すことが必要と考えるがどうか？

答弁：副区長、教育長をメンバーとする「区有地等活用検討会」を設置し「中・長期的な観点から区有施設の利活用の総合調整」を行い、オール千代田の視点から公共施設整備について検討を行い全体的な方針を策定していく。

聴覚に支障がある方に対する区の助成

問：日本耳鼻咽喉科学会が平成 29 年に行った「難聴と認知症・うつ病に関するシンポジュウム」では難聴が認知症の危険因子の一つと報告されている。また、補聴器所有者は「早く補聴器を使用していればよかった」「早く使用していれば、より快適な社会生活が送れたのではないか」との回答から、補聴器はコミニュケーションツールとして大変大事なアイテムと考える。

　そして、対面販売でない通信販売などでフィッティングをせずに購入された方の７割以上が不満足さを感じ、その７%の方が使用せず「タンス補聴器」となっている。先進的な自治体として、さらに聴覚に支障がある方へ配慮された助成制度の見直しを検討するべきではないか？

答弁：フィッティングにかかる技術料や脱落防止等の付属品購入例が多い等を考慮し、助成制度の見直しを進めていく。

屋外スポーツ施設

問：夢の島東少年野球場の維持補修等の予算が計上され、凸凹が激しいグラウンド整備とゲリラ豪雨や猛暑による熱中症対策として退避施設を設置し、機能性や安全性を確保し少年野球場を整備するとある。現地を管理する都港湾局や地元の江東区との調整が必要と思われるが、進捗が少々滞っていると聞いている。

　安全安心に野球ができるよう、グラウンド及び、退避施設の整備を行うべきと思うが、進捗状況な如何か？

答弁：グランドの凸凹とトイレの洋式化は終わった。台風 15 号の被害については 2 月までに改修する。熱中症対策の退避施設は東京都港湾局や江東区と協議し今年度内を目途に整備したいと考えている。

代表質問（要旨）

小林やすお

所属委員会

保健福祉委員会
議会運営委員会
オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
文化財保存・活用特別委員会

皆様のご意見をお聞かせください。

千代田区九段南１-２-１
千代田区役所７階
千代田区議会自由民主党
電 話 5211-4320
FAX 5275-6882